

エコールみよた Clip Board

浅間縄文
ミュージアム
(32)8922

スライドショー&トーク “縄文人は芸術家”

【内 容】カメラマン 小川忠博さんが撮影した縄文土器の至宝の数々をスライドで見ながら、縄文時代の謎と美にせまるトークです。

【出演者】小川 忠博(カメラマン)
小野 正文(縄文考古学者)
堤 隆(浅間縄文ミュージアム学芸員)

【日 時】6月2日(日)午後2時~3時30分

【場 所】エコールみよた あつもりホール

◆聴講無料



かえんがた
5000年前の火焰型土器(新潟県森上遺跡)

参加者募集

エコール
みよた
(32)2770

公民館パソコン教室②

「ワード活用コース」

ワードの基礎を学び、活用するコースです。一般文書から実務文書の作成までを学びます。

講師の先生が丁寧に教えてくださるので、ワードを学びたい方はぜひこの機会にご参加ください。

※マウス操作及び日本語入力が可能な方を想定して講習を進めます。

日 時

平成25年

7月9日(火)、11日(水)、16日(火)、
18日(水)、23日(火)、25日(水)の全6回

午前の部

午前10時~12時

午後の部

午後1時30分~3時30分

相 談 日

最終日(午後の部終了後) 2時間程度

場 所

エコールみよた2階 小会議室

対 象 者 町内在住者、在勤者

参 加 費 一人 2,000円(テキスト代込み)

募集定員 午前・午後 各11名

申込受付 6月15日(土)

午前9時から9時15分までエコールみよたロビーで受付を行います。申し込みが定員を超えた場合は、抽選にさせていただきますので、ご了承ください。

お問い合わせ

御代田町公民館 電話(32)2770

こどもたちによるおはなし会 開催しました!(4月27日)

フレンドリー
図書館
(32)0800



「ほくも、わたしもやってみたい!」という小学生のみなさん、あなたも参加してみませんか?

6月のおはなし会の予定

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)

6月6日(水)・20日(水) 10:30~11:00

おはなし会

6月8日(土)・22日(土) 10:30~11:00



楊雪

Yang Yuki

二胡コンサート

鈴木 美香
(シンセサイザー)
御木 裕樹
(パーカッション)

6月16日(日)

午後2:00開演(1:30開場)

エコールみよた あつもりホール

全自由席¥1,000(高校生以下¥500)

主催/御代田町公民館

共催/あつもりミュージックメイツ

やさしく

いにしへの時空を

奏でるメロディ

魂に響く

癒しの音色

曲目

シルクロード

蘇州夜曲

賽馬

川の流れるように

昴

櫻~ Eternally ~ 他

中国で生まれ、日本で育った楊雪の音色。

多くの世代がその音色に共感した。

この音色との出会いで、聴く人すべての心に、魂に、

優しさが溢れ、響き渡るように…

音楽を通して人々の心に響く癒しをテーマに、楊雪の二胡の音色は、

優しく幻想的な慕情を響き渡らせます。

中国と日本の感性が融合されセンシティブに奏でられる彼女の音色は、

中国の壮大な景観と素朴な情緒を感じさせながらも、

日本の繊細な侘び寂びの趣にも似た郷愁の想いを、いつしか心に響かせます。

チケット取扱い・お問い合わせ エコールみよた (32) 2770

はじめまして

絵本の世界

梅雨の季節になりました。植物が洗われて輝いたりもしますので、意外と雨の日のおでかけも悪くないものです。

長靴をはき、かさをさして外へ出掛けてみましょう。

『あめ ぼぼぼ』

空からぴとぴと雨が降ってきました。雨粒のひとつひとつがきらきらと輝いています。

男の子とママは長靴とレインコートを身にまとい、かさをさしてお出かけします。

あめはさあさあど風につて降ってきます。かさにはじける雨粒が、「ぼぼぼ」と足音を立てています。

ぬれて光る雨の道は、「ぴちぴちよ ぼちよ」と音がします。

砂場にも雨が足跡をつけています。雨の日の砂場は、どんな音がするでしょう？水たまりもあちこちにできています。

雨がやむと、空も水たまりもきらきらしています。



『あめ ぼぼぼ』
ひがしなおこ/さく
きうちたつろう/え
くもん出版

BOOK
コーナー

ほんとに、いい出会い。

一般書

今月のおすすめの

一冊!!

『さよなら妖精』

舞台は一九九一年四月。雨の降るなか、四人の高校生がユーゴスラヴィアから来た少女・マリーヤと出会います。

二ヶ月の間、彼女と共に過ごし、彼女が日本の習慣に戸惑いや疑問を抱くところに「日常の謎」が盛り込まれており、彼女が帰国した後には、最大の謎が残されています。それは、「彼女はどこへ(どの国へ)帰ったのか?」という謎です。

当時、ユーゴスラヴィアは六つの共和国から成っていました。紛争によって解体され、現在は消滅しています。各国が独立するまでの過程も異なります。主人公たちは、もし、マリーヤの帰った国が戦地になっていたならば、と心配して謎を解き明かしていきます。

答えを突き止めてもどうすることもできず、心配することしかできないもどかしさ、そして哀しい結末。忘れがたい青春小説です。



『さよなら妖精』
米澤穂信/著
東京創元社